

2014年8月10日 主日礼拝

司 会 ①浅井兄 ②佐々木伸兄 ③浜田兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②川田兄

賛 美 聖歌476番「やすけさは川の如く」

(It is well with my soul)

(主よ、主よ) ガリラヤ湖にて

ヤベツの祈り

聖 書 ① エペソ人への手紙4章11～16節 (P304)

②③ ローマ人への手紙5章1～6節 (P238)

音 楽 ① 坪井永城師

②③宮田四郎兄

証 詞 ① 小林治子姉(ドルカス会)

メッセージ ① 「キリストを知る知識の先に」 佐々木智行伝道師

②③「ゼロからの回復」 大川従道牧師

賛 美 「われはおさなご」 (490番・献金)

頌 栄 「主は素晴らしい」 アーメン

祝 禱

③日曜学校

「このように、わたしたちは、信仰によって、
義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストにより、
神に対して平和を得ている。」(ローマ五の二)

【大和ニュース】

- ・ 暑中御見舞申し上げます。毎週の日曜礼拝は、「聖なるお祭り」みたいですね。心から賛美と踊りをもって、主なる神様を礼拝致しましょう。
- ・ 本日、入門講座Ⅱ、S 主任会議、GM、YYタイム(森・12時半) J. Plus等あり。
- * 「青年会キャンプ」は、本日から12日まで。山中湖にて。お祈り下さい。

- ・ 今週も祈禱会を大切に！説教は倉知先生(瀬戸担任牧師)、水曜夜と木曜朝。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は梅津神学生。
- ・ 土曜祈禱会は、土曜夕方6時～7時。熱く祈ります！
- * 若者の有志たちが、福島でボランティア活動をされます。12日～13日。

石の枕

今月は何百年たっても忘れてはいけない事件がいっぱいある。広島、長崎への原爆投下、敗戦。最近では、1985年8月12日の御巣鷹山への日航ジャンボ機墜落事故から間もなく29年。それぞれ記憶を新たに祈りを捧げたい。

〈グランド・ゼロ〉という言葉を〈9.11〉以降しきりに耳にするが、これはもともと爆心地という軍事用語で、広島・長崎の原爆投下跡などを指してきたものを〈9.11〉、つまり2001年9月11日、ハイジャックされた民間機二機がニューヨークの世界貿易センタービルに激突した時にマスコミが使い始め、倒壊したビル跡の通称として広まったものである。

活水女子大学教授の上出恵子氏は次のように書いている。

パンドラの箱ではないが、箱の中に閉じこめられていた不幸や災いが飛び出し、混沌と不安の時代が始まったかのようである。なぜならば、ことは戦争やテロに限らないからである。新しい感染症による動物や人間の数多くの死、異常気象や世界の各地における環境問題など、私たちの日常を脅かすものが、今ほどリアルに感じられることはかつてなかったといえるからである。〈9.11〉とは、このような事態を衝撃的な映像と共に世界中に明らかにしたものであった。でなければ、グランド・ゼロ＝爆心地という広島・長崎の原爆投下に使われた軍事用語を、いくらマスコミが用いたからといって私たちは決してすんなりと受け入れることはなかったであろう。

私たちが生きる今の二十一世紀という時代は〈グランド・ゼロ〉を孕んだ時代なのである。いや、より正確にはそのことを絶えず意識せざるを得ない時代だといった方がいいかもしれない。

若者はこういう時代だからこそ、『氷点』（三浦綾子著）を読みなおし、人間の原罪を深く考えるべき時であろう、と訴える。

バベル物語（創世記11章）も同じこと。神めきの文明の崩壊は、歴史がくりかえし語っている。「一途に精いっぱい生きて来た陽子の心にも、氷点があったのだ。」作品発表から50年。今さらのように読み直すべき一冊は、この本であろう。読書会をしてみたいですね。

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース：ローマ10章～15章 Bコース：詩篇88篇～106篇